発　　行
大阪府立阿倍野高等学校
芝蘭会(同窓会)
545-0021大阪市阿倍野区阪南町1丁目30
TEL・FAX(06)6627-1004
Eメールアドレス
shirankaiabekou@gmail.com
ホームページアドレス
http://www.shirankai.jp/

SHIRAN 芝蘭

第72号
特集号
令和6(2024)年
9月15日発行

2024 芝蘭会総会

2024年11月24日(日)

午前10時～/受付/午前9時30分～

阿倍野高校 視聴覚教室

大阪市阿倍野区阪南町1-30-34
TEL 06－６６２７－１００４
地下鉄御堂筋線「昭和町駅」下車 北改札２番出口
地下鉄谷町線「文の里駅」下車 ６番出口
阪堺電車上町線「松虫駅」下車　東へ

2024 懇親会

受付　午後12時30分～
開宴　午後13時より

都シティ天王寺 吉野東の間

大阪市阿倍野区松崎町1-2-8
TEL ０６－６６２８－３２００
電車　天王寺駅より徒歩１分
JR天王寺駅東口正面、地下鉄天王寺駅・
近鉄大阪阿部野橋駅直結
車　阪神高速14号松原線～天王寺出口より約5分

参加費
１２,０００円
新卒生(76期生)は無料、
73期・74期・75期は5,000円

締　切
10月11日(金)までに
同封のハガキ、またはメール
(shirankaiabekou@gmail.com)
にて、お返事下さい。

>>> 芝蘭会会長挨拶

芝蘭会会員の皆様におかれましては、様々な場でご活躍され充実した日々を過ごされていることとお慶び申し上げます。また平素より阿倍野高校同窓会・芝蘭会にご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。会長に就きましてこの1年、所信表明の一つでした芝蘭会ホームページの更新を続け、充実した内容へと進化させました。
有能な担当役員に感謝です。是非アクセスして頂き、チェックしてみて下さい。
更に約300万円を要する芝蘭会報の作製・郵送料を軽減するべく、ホームページでの会報閲覧を軸とした会報発送の中止も視野に入れた協議を重ねています。また評議員会・総会・懇親会の同日開催と6月実施への移行も協議し、活動事業のスリム化・合理化と役員、委員の負担軽減を目し、2025年度から実現するべく活動しています。
私の好きなSimple is best.に沿った組織改革を推進したいものです。この５月には東京りんどう会（関東在住の阿倍野高校卒業生）の総会・懇親会に出席してきました。４０名程度の参加者があり、半数超が８０歳以上でしたが、盛況で皆さんお元気。芝蘭会から４人参加したのですが、同席した先輩は４名が９０歳以上の方々、全くクリアーで活舌も良く、とても驚ろかされました。この席で歴代りんどう会会長から、会の存続のため若い会員を勧誘したいので、芝蘭会員で関東在住の方の連絡先情報を提供いただけないかという申し出がありました。個人情報ということで様々な意見がありますが、前向きに慎重に検討しています。
余談ですがNHKが来訪し、ある卒業生の取材をしたそうです。来年度朝ドラの主役級女性のモデルが高女10期生とのことで、同じOBとして誇らしく感じています。
１００年間にわたり、多感な思春期を同じ空間で過ごした仲間の集合体である芝蘭会です。
熱い思いは、ジジイになっても残っています。皆さんも是非、芝蘭会の発展（会費納入を含む）にご協力下さい。
最後に、阿倍高時代を思い出した時は　“芝蘭会ホームページ”　へ!!

阿倍野高校学校長挨拶　<<<

芝蘭会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご支援ご協力を賜っておりますことを心よりお礼申し上げます。校長室から望む中庭の木々も緑深くなり、そこを通る生徒の登下校を見ていますと伝統校の落ち着いた雰囲気が漂い、正門や玄関の花壇は、彩華やかな花々に飾られています。長年活動いただいている「阿部高を美しくする会」は、芝蘭会の皆様、ＰＴＡや有志生徒たちも参加し、生徒や教職員、来校されるすべての人々を和ませていただいています。６月の体育大会は、晴れわたる中で行われ、熱中症も心配しましたが、芝蘭会より給水所を設置し、豊富な清涼飲料水をご提供いただき、安全と安心を確保していただきました。昨年度は生徒が考案したマスコットキャラクター「アベラビ」が旧校舎に通学するデザインで団扇を作成いただき、文化祭や学校説明会で配布させていただきました。昨年度はダンス部が全国大会に出場、本年度は軽音エレキ部が近畿大会や全国大会に出場した際も、応援垂れ幕を寄贈いただきました。
このようにいつも温かいご支援をいただいております。教職員一同、感謝申し上げますとともに、より充実した教育活動に励み、阿倍高生は日々成長を続けてまいります。
　さて近況ですが、学校は落ち着きついた雰囲気で、穏やかで和やかな学校生活です。この雰囲気や生徒の気質は中学生や保護者の方にも伝わり、学校説明会に参加する中学生を見ていますと、まじめで落ち着いた生徒が多く、きっと阿倍高になる生徒さんたちと感じます。昨年度の入学者選抜では、定員が１クラス増え１年生は８クラス学年に戻りました。府立高校の多くの学校で定員割れの中でありがたいことだと思います。また先日、新聞部ＯＢより阿倍野高校で過去に配布された新聞原稿をデジタル化したＤＶＤをご送付いただきました。過去の学校生活の様子や記事にて当時の様子を知る貴重な資料として校長室及び芝蘭会館に保管し活用させていただきたいと思います。さらにコロナも収束し、以前の高校生活に戻る中で、大谷グローブ効果もあり、硬式野球部が隣の苗代小学校と野球交流活動を行ってくれました。以前は吹奏楽部など学校間交流もされていたと聞いています。このように地域との連携も復活させ、地域を大切にしながら本校の教育活動をさらに進めてまいりたいと思っています。
　本校は、教育目標の「めざす生徒像」として、校訓の「自立・敬愛・共創」を設定しています。生徒が自身を律し、適切な判断と行動をとり、常に自他を敬愛する豊かな心を持って人と接することができること。これは本校が自慢できる伝統的な生徒の気質であり生徒像です。さらにこれからは、ＩＣＴ時代やグローバル社会に向けて、他者と共に新しい価値を生む力である「共創」していくことができる人材の育成をめざします。
　百周年という大きな節目を土台にして、たくさんの皆様のご支援をいただきながら阿倍野高校の益々の発展に向けて、微力ではございますが尽力してまいります。今後とも芝蘭会の皆様には、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

――――よろしくお願いします――――

芝蘭会の諸先輩方、初めまして。新たに入会しました。76期生です。
伝統と歴史ある阿倍野高校の同窓会である「芝蘭会」に入会でき、
大変光栄に思います。在学中、芝蘭会の皆様方にはたくさんのご支援をいただきました。私たちも在校生のために何か力になりたいと考えています。
今後ともどうぞよろしくお願いします。

76期生同窓会委員　一同

第76期生同窓会委員

1組	◎清原　一葉	◎万　嘩
2組	加藤　慎士郎	河合　陽菜
3組	浅野　静葉	奥久保　聖菜
4組	金海　桃香	北川　雄太
5組	河本　蒼吾	松本　夏美
6組	小崎　駿	平井　亜季
7組	大島　歩	中嶋　美月

◎は評議員（敬称略）

埋もれていた高校阿倍野新聞

芝蘭会副会長
江後　利幸(高31期)

１００周年記念事業により改修された芝蘭会館２階に積まれた段ボール箱を２４期の先輩と共に片付けていたら、大量の同窓会報と高校阿倍野新聞があった。大量にあったので、同窓会報の整理は、芝蘭会の仕事として残し（着手した形跡、未だなし。）、高校阿倍野新聞のみの整理を始めるも、到底できそうにないと思い、新聞部ＯＧの同期三谷さんに、その場で電話。翌週三谷さんと整理するも無理でしたので、その後は新聞部ＯＢＯＧに引き継いだ。そしたら、ＤＶＤに化けた。新聞部の中に魔法使いがいるようです。その後、２期の毛利さんから、９０周年のときに集められたと聞きました。奇跡的に１号から見つかりましたが、なぜか１号の「高校阿倍野新聞」が切り取られていました。是非犯人は自首して欲しいと思います。
最後に魔法使いの皆様お疲れ様でした。

バドミントン部

男子ダブルス2部大阪府準優勝
男子シングルス2部　ベスト16

コメント

部活の人数が多くて大変だったけどみんな一つになって協力してくれて楽しかった！
期待しちゃってください！

ダンス部

①ストリートダンス選手権出場
②文化祭　引退の舞台
③大会出るんで応援してください！

ジャンルについて

ロック　鍵を閉める動きが由来、
　　止まる動きが特徴的なジャンル
ブレイク　HIPHOP にアクロバットを足したイメージ

あべ高SELECT

①戦績！
②印象に残っていること！
or
活動！
③一言！

運動部

陸上部

成績

中央大会　200m決勝進出
4×100m　準決勝進出
4位

やり投げ　大阪府34位

コメント

練習しんどかったけど、
成長することが出来たし
皆が仲良かったから辛い
練習も乗り越えれた。
陸上部が一番な自信があ
るのでおすすめ！

～ハンドボール部～

＜男子ハンド＞

①春季大会兼インターハイ予選ブロック
②合宿
③最後の大会で全力を出し切ることもでき、ハンドボールの楽しさを知りました。

＜女子ハンド＞

①中央大会南地区ベスト４
②体育大会
③部員みんな仲良く、充実した時間を過ごすことができました。
後輩のみんなは頑張ってください！

剣道部

①全国高校総体（男女個人戦
　三回戦進出
②学校ではいろいろな練習に励んでいて、素振りや打ち込み、稽古などを頑張っています。
③前回の大会ではあまり成績が振るわなかったのですが今度の大会に向けて頑張ってまいります！！！

男女バスケ部

①女子インターハイ予選２回戦選出
男子がんばりました
②みんなが日々うまくなっている姿を見ること。
③時間はそんなにないのでみんな頑張ろうね。

売上拡大、組織人事、資金管理、補助金申請などの経営全般のサポート、
中小企業診断士受験支援など
株式会社スクラムパートナーズ
代表取締役社長　加　納　孝　幸　（高校33期　ラグビー部ＯＢ）
中小企業診断士　国家資格キャリアコンサルタント　ＦＰ２級
本〒545-0053　大阪市阿倍野区松崎町3－1－15
E-mail　kano@scrum-p.com　　Web https://scrum-p.com

音楽部！

①文化祭のパフォーマンス
②校内ライブでみんなに楽しんでもらえたこと！
③全員が仲いいところ、音楽を楽しもう！！

茶道部！

①留学生との交流

②文化祭でいっぱい人が来てくれたこと

③賑やかな部活で学年関係なく仲いいです！！

あべ高SELECT

①成績！
②印象に残っていること！
or
活動！
③一言！

文　化　部

軽音楽部

①近畿大会出場
全国軽音フェスティバル出場

②先輩、後輩と仲良くなれたり、ライブ後に他校の方と交流するのが楽しいです。
③**次は世界！**阿倍野高校といえば軽音部というイメージを浸透させる!!

パソコン部！

～活動～

- 体育大会で動画撮影
- オープンスクール用の動画撮影・編集

～コメント～

普段はゆるく活動してます。
これからの快進撃に
乞うご期待！！

吹奏楽部

①第71回大阪吹奏楽コンクール地区大会
銀賞
第49回大阪府アンサンブルコンテスト
銅賞
②コンクールが終わったあとにみんなで打ち上げに行ったのが楽しかったです！
③「吹奏楽」を通して音楽っていいなって思ってもらえたら嬉しいです！
もっと沢山の人に演奏を聴いて楽しんだり感動したりしてもらいたいです！

ESS部

① 交換留学生の交流会の参加

② 週一回、ボードゲームを中心に英語でお題を決めて話し合ったり、英語で映画（ハリー・ポッターなど）を見ます。

③ ゆる～く活動しています

法人設立　建設業許可　運送業許可　産業廃棄物許可
相続　帰化申請　入国管理　各種許可申請
橋　本　行　政　書　士　事　務　所
行政書士　橋　本　健一（高30期）
〒550-0005　大阪市西区西本町1丁目8番2号 三晃ビル407号
TEL(06)6543-7727　FAX(06)6543-7728
E-MAIL : info@hasimoto-office.jp

あべ高トピックス

軽音エレキ部

「ただひたすらに感謝を込めて」

顧問　網野慎也

軽音エレキ部の顧問になり5年目となりますが、顧問になった年から考えると見違えるようなクラブとなりました。今年は近畿大会、全国大会への出場も果たし、軽音の盛んな学校として認知されつつあります。これらの功績は普段から真下の準備室に響く音を我慢してくださっている先生方、クラスを貸してくださっている担任の先生方、横断幕などをお願いしても快く援助してくださる同窓会の方々など、たくさんの方々に支えていただいた結果であると思っています。いつも本当にありがとうございます。そしてもう一つ忘れてはいけないのが、OB, OGの存在です。私は彼らと一緒に1からこのクラブを創ってきました。彼らがここまで道を切り拓いたからこそ、今の軽音エレキがあると思っています。

今年からクラブTシャツにTreasureという単語を入れました。これには3つの意味を込めています。２つは沢山の人の前で演奏する経験値、そしてライブ等で交流した他校の生徒等との絆です。これらは普通に暮らしていたら経験できるはずのない「宝」です。そしてもう一つこの単語には「遺産」という意味があります。先輩から後輩へといろんな形で受け継がれていく遺産。これがクラブ活動で最も重要であると私は考えています。これから先にこの受け継いだ遺産をより良いものにしていけるよう、今の生徒たちと共に頑張っていこうと思います。

今後とも軽音エレキ部をよろしくお願いします。

軽音エレキ部部長　玉置胡桃

現在軽音エレキ部は1年生18名、2年生18名の計36名で活動しています。校内ライブ・校外ライブ、大会などに向けて部員みんなが協力し、和気あいあいと練習しています。今年の3月には近畿選抜高校軽音フェスティバル、6月には全国軽音フェスティバルに出場しました。これからもさらなる高みを目指し、部員一同部活動に励んでいきたいと思います。

MANACS

ISO9001取得　JAS認定工場　JPIC-L68

株式会社 マナックス

代表取締役　松波清人（高24期）

本　　社　〒580-0031 大阪府松原市天美北2－19－12
TEL 072－335－2600　FAX 072－335－2065

東京支店　〒135-0032 東京都江東区福住1－11－4－2F
TEL 03－3820－0331　FAX 03－3820－0333

大阪営業所　〒580-0031 大阪府松原市天美北2－19－12
TEL 072－335－4210　FAX 072－332－7674

名古屋営業所　〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3－13－20
TEL 052－684－8022　FAX 052－684－8023

工　　場　〒580-0041 大阪府松原市三宅東4－1456－1

あべ高 コンソーシアム

高校コンソーシアム(事業)とは、文部科学省が推奨する事業の一環で、現在の若者を取り巻く環境が激変する中、多様なスキルや考え方を獲得していかなければならないという現実に直面し、また、グローバリズムが必須となる社会に於いて、その多様な価値観の獲得も必須となっている最中、そのような社会環境が必要とする人材の育成が、これからの日本社会にとって必須の課題となっており、それらの人材となる高校生に対してトータルマネージメントスキルや価値観の育成・獲得を目指したプログラムです。
また、このプログラムは、今日までの受動的スキームではなく、在学生自らが、進んでそれらの課題・スキルを獲得していくという、能動的スキームの展開・獲得を目指し、学生生活をより能動的に魅力あるものに学生自らが創出していくことに、意味と価値があるものです。

今年度芝蘭会として、母校支援事業をより強化していくという方針の基、阿倍野高校との懇談を経て、先ずは試験的に自治会執行部メンバーと、取り組んでいくことになりました。
その初めとして、この会報「芝蘭」の編集作業に取り組みました。 自治会執行部メンバーの皆さんも、このプログラムに積極的に関わり、初めての事が多い中、また、様々な予期しないイレギュラーに見舞われながらも、それを粘り強く最後まで貫徹し、編集作業を完成するに至りました。
次の目標・取組として、芝蘭会ホームページを1から作成していく予定です。少しづつではありますが、この事業・プログラムを推進し、より魅力的な充実した価値ある高校生活を築いてもらうべく、支援強化に芝蘭会として取り組んで参ります。

アルグランド税理士法人

代表　税理士　小　林　邦　雄（高校25期）

税理士　中　尾　喜　子

近畿大阪 M&A センター

アルグランドファイナンシャルアドバイザリー合同会社

〒545-0004　大阪市阿倍野区文の里3-16-14

Phone/06-6628-0706

F a x/06-6628-0159

奥野嘉彦元校長先生を偲んで

奥野嘉彦元校長先生が、令和5年11月15日、享年72歳で他界されました。

本年1月27日の天王寺新宿会館での偲ぶ会には、歴代校長の前田先生・笹山先生・古元先生をはじめ、奥野校長当時の教職員、事務職員、PTA、芝蘭会と30名の方が集まりました。最初に哀悼の意を表し黙祷を捧げ、阿倍野高校を美しくする会の佐藤弘一会長の弔辞を敬聴し、毛利泰子相談役に献杯の発声をお願いしました。そして、皆さまからの奥野先生の思い出話を「偲ぶ想ひ」で聞かせていただきました。奥野先生が大切にされていた人と人のつながりの中、久し振りに再会した方も多く、奥野先生のお人柄を偲び、悲しみとともに熱く語り合いました。気がつけば3時間が過ぎ、奥野先生と親交の深かった古元先生の謝辞で閉会しました。

奥野先生は阿倍野高校在任中に癌の手術を受けられ、その後の経過は良く、活躍されていたのですが、数年前から病状が悪化し、特に令和4年頃から厳しい闘病生活をされていました。そんな中ご自身の想いを活字にし出版したい、本でも阿倍高百周年をお祝いしたいとの願望を持ち、「定年後の私の最大の目標は、阿倍高百周年に出席して、皆様と再会し、共にお祝いをする事でした。その目標が実現しようとしていた矢先の体力等の劣化です。お礼の気持ちを文字にし、10月30日の記念式典と祝賀会に参列したいと願っています」と、編集後記に記された本を、百周年記念祝賀会閉会後に、阿倍野高校を美しくする会メンバーと共に自ら配布されました。奥野先生が「自分の教員生活の中で、阿倍野高校勤務時代が一番幸せで充実した時代でした」とつくづく語られたことを思い出します。在任中からどのような状況下でも、阿倍野高校の発展と芝蘭会の発展に粉骨砕身でご尽力いただきました。真に阿倍野高校の功労者であり恩人です。私たち同窓生は感謝の気持ちでいっぱいです。これからも阿倍野高校の記憶に深く刻まれることと思います。　奥野嘉彦校長先生　本当にありがとうございました。どうか天国で安らかにお眠りください。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

（芝蘭会元会長　高17期　西田幸弘）

同期会だより

31期生同期会報告

2024年6月2日(日)　15時よりあべの新宿ごちそうビル1F・キッチンバー雅楽で行われました。川野君、越石君に幹事をして頂き、約一年ぶりの同期会となりました。皆、お互いの壮健ぶりを確認しあい、また、高校生に戻っての和気あいあいとした雰囲気で、料理にお酒に舌鼓を打ち、今までの親交を更に深め合うことができました。

途中、越石君がギター演奏をするという催しもあり本当にヤンやヤンやと、大変盛り上がることが出来ました。続いての2次会では、恒例のカラオケ大会となり、同期の瀬藤先生はじめ、サッカー部OBの皆さんが大変盛り上げて頂き、本当に楽しいひと時を過ごすことができました。また来年、更に多くの同朋の参加を頂いて、31期盛り上げていきたいと思います。幹事、同期の皆さん本当にお疲れ様でした。

（高31期同期一同）

19期生同期会開催

晩秋の令和５年11月27日に大阪駅前のホテル　グランヴィア大阪にて昨年に引き続き開催しました。今年は初参加の６名を加え総勢32名が集い、おいしい料理を堪能しながら2分間スピーチで近況を報告し大いに盛り上がりました。初参加の大嶋(大村）さん(大阪岳風会会長）の詩吟の披露もあり和気あいあいのうちにたのしい３時間が過ぎました。２年後、私達も77歳になりますので次回は喜寿の集いを令和７年７月７日に開催したいと思っています。

今回参加できなかった方々も是非参してください、お待ちしています。

最後になりましたが事務局として全てやってくれた寺坂君、ホテルの手配に奔走してくれた川島君、幹事の皆さんありがとうございました。

（高19期　鈴木慶章）

「山麗会」- 米寿を祝う -

清水　利男・瀬林　伝　（高7期生）

「山麗会」は、1978年(昭和53年)に発足した1955年(昭和30年)に卒業した7期生の集まりの会です。卒業以来、卒業30、40、50、60周年、還暦、傘寿、或いは「恩師の卒寿の祝会」など、昭和と平成の時代に、30余年回の会合を重ねてきました。

平成31年4月には母校(芝蘭会館)で「昭和・平成の卒業式」を行い、次回は「令和の入学式」と願っていましたが、コロナ禍等で実現できませんでした。今回米寿を迎えた我々は、主に関西圏の旧友約40名に呼びかけて、令和6年4月11日(木)に難波御堂筋ビル2F(Café de la Paix)で、益田(大杉)、大江(砂子)、泉(中村)、増田(古川)、東山(堀川)、内田、石曾根、篠田修、清水、谷本、矢田、荘司、長尾、尾崎、久安、玉置、吉田、瀬林の18名が老体に鞭を打ち、元気に顔を揃え、楽しいひと時を過ごしました。今後、まだまだ「70周年」、「卒寿」、更には「白寿」?を目指すことになりました。尚、今年は再度、11月11日(月) 13時に、この場所で忘年会を開きます。ぜひ、多くの旧友の参加を願っています。

同期会だより

陸上部OB・OG会開催（クラブOB会だより）

２０２３年９月２３日（土）に陸上部OB・OG会を天王寺の楓林閣阿倍野店で、高１９期から高４０期まで合わせて５０名が参加して盛会に行われました。コロナ禍で２０１９年以来の開催となり、久しぶりに阿倍野高校のグランドで汗と涙を流した仲間たちと交流を深め、世代を超えた楽しいひと時となりました。冒頭に物故者の黙禱、引き続き高１９期の中平会長にご挨拶をいただき、その中で高２７期の重田先輩に会長をバトンタッチするとのご報告をいただきました。その後、高２３期の藤谷先輩による乾杯のご挨拶で歓談となり、クイズやビンゴの余興で盛り上がりました。最後に校歌斉唱と高２２期の奥田先輩に締めのご挨拶をいただいて閉会となりました。一次会の終了後、近くのカラオケスナックでの二次会にも多くの皆さんが参加し、更に盛り上がりました。今回は、私が臨時の幹事となり、高３７期の若野さん、高３８期の高橋さんにサポートいただいて無事に終えることができましたことを感謝しています。陸上部OB・OG会には、世代や性別を超えて会員相互に交流を深めながら、若い世代の参加と現役生の支援という課題があります。次回のOB・OG会には高４１期以降の方々の参加を是非お待ちしております。よろしくお願いいたします。

高34期　西村洋三

高23期同期会の案内

23期の皆さんお元気でしょうか。
下記の内容で来年5月に同期会を行います。たくさんの方々の出席をお待ちしています。

2025年5月25日(日)午後2時～
がんこ　なんば本店
(なんば南海通り)
大阪市中央区難波3-1-15
大阪メトロ・南海・近鉄
なんば駅下車

2025年3月に葉書やメールで詳しい案内をします。
問い合わせ先
竹本英二　090-5670-2033
メールアドレスabekou23@yahoo.co.jp

16期生同窓会

本令和５年10月28日、ホテル阪神において、卒後60周年記念同窓会が無事に開催され、素晴らしいひとときを過ごしましたことをご報告いたします。59名の方々にご参加いただき、思い出深い一日となりました。卒業してから長い年月がたち、懐かしい学生時代の面影が蘇りますが、私たちの若かりし日々に戻る貴重な機会を近隣の方や地元を離れた遠方の皆さまとも共有したく、年々体調不良で欠席される方が増え、また世話人の負担が大きくなり、元気なうちにと16期生全体として、最後の同窓会となりました。まず始めに全員での記念写真を撮影し、写真は散会の時に配布されました。その後、世話人代表による開会の挨拶で始り、亡くなられている方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げ、懇親会に進みました。久しぶりに顔を合わせた同級生たちとの会話が弾み、昔話に花を咲かせ、出席できなかった恩師や同級生の近況報告やメッセージも交えながら楽しい時間を過ごしました。
これからは仲の良い友人や、共通の趣味を持つグループなど、共通点あるメンバーで、16期生の絆を深めて頂けたらと願っています。

(高16期同窓会幹事一同)

東京りんどう会だより

東京りんどう会会長
鈴木慶章（高19期）

令和６年５月１８日（土）に「東京りんどう会」懇親会が開かれました。「総会」が「懇親会」になって二度目の集まりです。会場の「アルカディア市ヶ谷」は、交通の便もよく、駅からも近いので、去年に続いての開催となりました。この日は快晴で、受付の前の大きな窓から、皇居の外濠を望む水と緑の景観が、美しく輝いて見えました。

今年の参加者は高校ばかり３９名。芝蘭会からは２４期生・３１期生、５名のご参加をいただきました。みなさまは、りんどう会的にみて、とびぬけてお若いかたばかりです。芝蘭会や野球部ＯＢ会の現状の大変さを、それでもユーモアたっぷりにお話しくださり、会場は大いに盛り上がりました。当日は北陸新幹線の架線事故で、長い時間車内に閉じ込められた会員もおり（そのうち１名は、大阪から米原経由、北陸新幹線で東京に向かった、という不思議な鉄オタ氏）、また、中央線の事故などもありましたが、全員無事に集うことができました。全体の参加者は少なめでしたが、芝蘭会のお元気なみなさまのおかげで、いつも通り和気藹々とした、楽しい懇親会になりました。

令和７年は５月１８日（日）に同じアルカディア市ヶ谷で開催を予定しています。東京のど真ん中で、いくつになっても変わらぬ大阪弁で心置きなく語り合える、そんな「東京りんどう会」にいらっしゃいませんか。卒業生のみなさまのご参加をお待ちしています。

阿倍野高校を美しくする会

2024年度、新入生の皆さんをお迎えするべく4月初旬と阿倍野高校体育祭に保護者の皆様をお迎えするべく5月下旬にガーデニングを実施しました。「美しくする会」は、当初阿倍野高校創立80周年記念事業の一環として、阿倍野高校が少しでもお花で満たされ、在校生・保護者の皆さんの心が少しでも和み、より良い学生生活を送ってもらいたいとの思いで、芝蘭会有志の方々で創設され、約20年活動を継続し、芝蘭会事業として活動しています。美しくする会ガーデニングに参加ご希望の方は、芝蘭会事務局までご連絡お願いします。

(世話係　佐藤弘一・高12期／毛利泰子・高2期／高橋房子・高16期)

ゴルフコンペ
ゴルフへのお誘い　パート２

「第18回　阿倍野高校　芝蘭会　ゴルフコンペ」を5月21日(火)に法隆寺カントリークラブで開催し、24名(内女性3名)の方々が参加されました。成績は次の通りです。

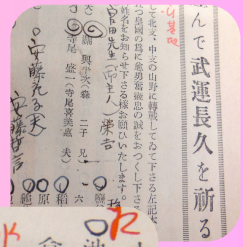
総合優勝	杉村　英彦(高24期)	グロス 92	HDCP 18.0	ネット 74.0
準優勝	大和田　亘(高29期)	グロス 92	HDCP 16.8	ネット 75.2
三位	大川　篤 (高39期)	グロス 86	HDCP 10.8	ネット 75.2

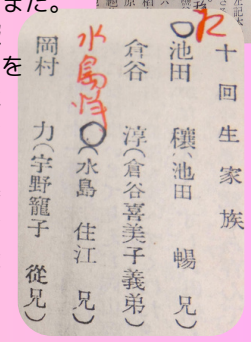
「第19回芝蘭会ゴルフコンペ」は7月28日(日)法隆寺カントリークラブで計画しております。現役世代に是非参加してほしいとの願いから日曜日で計画しました。(会報が届く頃には終わっています。)

「第20回芝蘭会ゴルフコンペ」は11月26日(火)法隆寺カントリークラブで計画しております。多くの方々の参加をお待ちしています。(約50名の方々が会員登録されています。)ゴルフコンペに参加しようと思われる方は芝蘭会事務局まで連絡をお願いします。　(高18期　宮地　克茂)

女高10回生・池田(小松)暢(のぶ)さんがモデルに
NHK朝の連ドラ小説「あんぱん」
来春　放送開始!!

池田(小松)暢さん
(女高10回生)





戦後80年を迎える2025年。第112作目の連続テレビ小説『あんぱん』は、“アンパンマン”を生み出したやなせたかしさんと池田(小松)暢さんの夫婦をモデルに、生きる意味も失っていた苦悩の日々と、それでも夢を忘れなかった二人の人生を描くものとなっています。ヒロイン・モデルの池田(小松)暢さんは、私たちの大先輩の阿部野高等女学校の１０回生として在籍されていました。NHKの制作部の方と池田暢さんの資料を探し、やっと会報「芝蘭」にわずかばかりの手掛かりと、卒業アルバムを見つけ出すことができました。その資料から、日本という国が次第に軍国主義化していき、暢さんのお兄様が出征し、また皇軍募金をされていた足跡を見出すことが出来ました。多感な青春時代を大変な時代真っ只中で過ごしていかれたようです。阿部野女学校として、直接は描かれませんが、私たちの先輩の人生が描かれていきますので、皆様゛是非ともご覧いただきます様宜しくお願い致します。

会　員　だ　よ　り

2023年度返信ハガキ通信欄より抜粋しました。(敬称略・順不同)

笹山幸子　元校長
100周年記念式典から早1年、皆様おかわりございませんか?私現在リフォームを控え、今回の総会は欠席いたします。校長として当時は「変化・進化・挑戦」を合い言葉としていましたがそれを胸に現在、府の教員として活躍している卒業生の近況を知りました。
うれしい限りです。

辻野正明　旧職員
創立100周年記念式典に出席。数名の懐かしい旧職員にお会いすることができました。

野々上良甫　旧職員
筋肉のおとろえにより現在は歩くのが大変困難になり、ほとんど在家で、家の中でもこけることが度々あります。

日比(成瀬)サヨ子　女17
思い出は美化され今も残り居り老い日のゆたか、母校の便りありがとうございます。(97歳)

川内(三浦)美智子　女19
幹事の方お世話になり有難うございます。海外勤務だった長男、次男が帰国して長男はすぐ近く(30mぐらいの)場所に住んでいますので何とかヘルプしてもらっています。夫98才、私も96才。まさかここまで生きるとは思っていませんでした。合唱団に入っていたので歌っています。

辻本(今村)芙美代　女23
創立100周年記念祝賀会に参加させていただき、有難うございました。皆様と旧交を温めさせていただき楽しかったです。現在91才。老人会でグランドゴルフ、コーラスグループに参加で楽しみがふえました。の
残りの人生1日1日を大切に過ごしたいと思っています。皆様の御健勝を祈念致します。

石井(鈴木)祥子　高2
年をとりましたので遠方には伺う事が出来ません。淋しい限りです。よろしくお願い申し上げます。

毛利泰子　高2
90才を過ぎました。こんなに長生きするとは夢にも思わなかった事です。微力ながら学校のガーデニングが続けられるのを感謝しています。

和田秀朗　高3
小生、卒寿も過ぎました。同期会は、喜寿の時が最後でした。退職後(大阪府)の平成、令和の33年間は、油彩や囲碁や登山を友として、元気に仲間と愉しみました。長寿の時代、幸せに生を完うしたいものです。

樽谷俊彦　高4
100周年記念お見事でした。久しぶりに懐かしい人々にお会いでき幸せな一刻でした。お陰様で元気に俳句・ゴルフを楽しんでいます。

瀬林　伝　高7
毎年「芝蘭」御送り下さいまして、有難うございます。約50年間のテニスも、東京でのNPO活動も85才で卒業し元気に過ごしています。
コロナ禍以後、旧友達と偶数月にナンバで歓談しています。我々の「山麓会」も再開したいです。

竹下賢明　高8
2023年5月の「東京りんどう会」総会で会長を退任させていただきました。約7年間(但、コロナで3年以上行事が無かったので実質4年間)皆様のお力添え誠にありがとうございました。

前田(滝石)佳子　高8
御案内いただきます度、発送等大変お世話様になっています。ありがとうございます。いつも沢山の写真入り母校の様子をなつかしく読んでおります。

新野正明　高9
いつも会報ありがとうございます。22年12月に近くのケアハウスに夫婦二人で入居しています。結婚して57年元気に過ごしています。今回ワコちゃんからの便りにふれ古いアルバムを出して高校時代をなつかしく思い出しています。

足立徳子　高10
いつもお世話になりありがとうございます。会報拝見、母校がとても立派になり見違えるようでとても嬉しく思います!!これからもどんどん発展していくことを祈っています。

前田輝夫　高11
年賀状に代る訃報はさびしいが、この欄で元気を伝え合えることは嬉しい。集えるときに集い、語り合えるクラス仲間と喜びを分かち合いたい。近況をお知らせ下さい。がんこあべの店でもう一度笑い語ろう!志賀先生の思い出と共に過ごす時間をつくろう!

内林(小倉)昌子　高13
今春傘寿のお祝いの会が同期会の最後の会として開催され、お元気な方々にお会いできて、なつかしいひとときを過ごすことが出来ました。これからも健康第一で過ごすことが出来ればと願っています。

橋本多嘉子　高14
今年は私たち同期は傘寿、80歳を迎えます。よくぞ生きてきた!って感じです。クラブ(美術部)活動が功を奏した訳ではないですが、80歳の思い出にと出展した市の美術展で入賞(ロータリークラブ賞)して、いい記念になりました。

行友妙子　高17
いつもお世話になりありがとうございます。喜寿の集いもコロナ禍で少し遅れましたが盛況の中、無事に終えました。皆様傘寿迄頑張って集いを開きたいと散会しました。

芝蘭会だより

2024年度芝蘭会事業・活動方針より

2024年度6月評議員会に於いて今年度事業活動方針、予算案が賛成多数により承認されました。昨年度末より今年度当初に渡り、再度、芝蘭会事業の在り方について、幾度の協議を積み重ねてきました。今年度の大きな柱として、芝蘭会の本来の役割、つまりは、母校・在校生への支援をより強化し、将来に渡り芝蘭会の存続と更なる発展を確実なものにしていくことを位置付けました。また、それに関して、限られた財政規模の中、予算執行の在り方も精査し、より有効な執行を行っていく方向付けを行いました。その手始めとして、今年度会報「芝蘭」を自前で作成し、校正・印刷費用を抑え、それを母校・在校生・会員に還元していくことに取り組みました。今後も、各事業の在り方を再度精査・検討・再定義し、母校・在校生・会員の皆様に有効に還元するべく芝蘭会として、より一層の努力をしてまいりたいと存じます。会員皆様のより一層のご支援、ご理解いただきます様お願い致します。

【お詫びと訂正】

2023年度会報「芝蘭」掲載の100周年記念事業募金頂きました高4期の長澤宏様のご氏名を「長澤宏子」と誤記載されていました。正しくは「宏」様です。深くお詫びし、訂正させて頂きます。

今年度会報「芝蘭」について

今年度会報「芝蘭」について、「阿倍野高校新聞DVD化」を記念して、特集号として発行させて頂きます。それに伴い、紙面の構成が例年と異なり、掲載内容を変更させて頂いております。その他の掲載内容等につきましては、随時「芝蘭会ホームページにて、掲載・閲覧できるようにしてまいります。皆様のご理解いただきます様、宜しくお願い致します。また、今年度、来年度の会報の送付範囲も、上記改再編により、随時検討・変更を予定させて頂いております。重ねて皆様のご理解いただきます様お願い致します。

2025年度総会・懇親会について

2025年度芝蘭会総会・懇親会については、6月下旬に評議員会と同時・同日開催をさせて頂く予定に致しております。会員皆様の負担軽減も含め、総会の内容も検討を始めております。詳細につきましては、2025年4月上旬に会報「芝蘭」特別号にてお知らせさせて頂きます。皆様の更なるご理解頂きますよう、宜しくお願い致します。

編 集 後 記

今年度会報「芝蘭」について、阿倍野高校自治会の皆さんと構成・編集作業を行いました。初めてで、様々の困難を乗り越えての編集作業となりましたが、皆さんに粘り強く取り組んでいただき、完成するに至りました。皆さんの感想として、「パソコンが苦手だったが、それが無くなり大学でも活かせていきたい」「めっちゃ楽しかった。皆で協力して作業が出来たのがかなり良かった」「編集ソフトを使って1年生同志交流して、つながりが出来て良かった」「編集ソフトで写真を入れるのがすごかった。編集ソフトをもっと使って、いっぱい楽しみたい」「自治会・芝蘭会で、1つのものを作るのが良かった」など、意欲的な感想を頂くことが出来ました。今後も積極的に継続していく予定です。皆さん宜しくお願い致します。　　(広報一同)

ここからは高校阿倍野新聞復刊号です。是非、巻末ページからご覧ください

部誌 特別復刊に寄せる思い

前ページに掲載した年表や写真などは全て現存する高校阿倍野新聞のバックナンバーからの抜粋である。

阿倍野高校百余年の歴史からするとわずか創刊から40年ほどの期間ではあるが、高校阿倍野新聞は本校が創立時から徐々に充実発展していく様をいつも側にいて共に眺めてきた。

休刊後、既に三十数年の歳月を経ており、卒業生の中でも新聞部があったことを知る人は半数以下であると思われる。年に7~8回発行していた時期もあったが、厳しい予算の中で発行回数も減り、印刷費用を切り詰めるために手書きガリ版手刷りの新聞を発行した時期もあった。

しかしそのような移り変わる環境の中で一貫していたものは何か。時には生徒の代表として声を上げ、時には生徒の軽はずみな行動を諫めた。全ては良き阿倍高へとの思いである。

時代時代の生徒なりの目線で代々書き繋がれてきた記事たち。また生き生きとした生徒たちの活躍を伝える記事たち。あるいは校内の些細な出来事を伝える記事たち。改めて新聞を読むと、これらがいかに阿倍野高校にとって歴史的文化的価値を有するものかということを痛感する。

それ故に今回の復刊号は、かつて阿倍野高校に新聞部があり、本校の歴史をこうして伝えてきたのだということを、ぜひ同窓生に、そして在校生の皆さんに知ってもらいたいという思いを込めて編集した。

90周年記念事業として電子化したファイルは、図書室の隅で眠っていて長らく日の目を見ることがなかったが、今回改めてスキャン作業を行い改訂した電子版は、芝蘭会のホームページからいつでも見られるようになった。

この復刊号を見て興味を持たれた方に、特に在校生の方に伝えたい。

どうかこれらの新聞に触れ、母校の歴史の中で躍動する先輩たちの姿を思い描いてほしい。そして、自分たちもまた阿倍高生として一時代の歴史を作っていくんだと言う自覚を持って、貴重な高校生活を精一杯楽しんでいただきたい。

それが歴代の全編集者の想いであると信じて疑わない。

かくして高校阿倍野新聞がカラーで復活し、会報芝蘭のページを飾った次第である。

世はネット時代となり紙媒体の衰退が著しいが、誰もが新聞から情報を得ていた昭和の頃には、多くの高校で学校新聞が発行されていて、高校生が自らの手で新聞を制作していた。

当時の阿倍高生たちもクラブ活動として新聞記事を巡り侃々諤々の議論を戦わせながら新聞を発行していた。学校新聞コンクールに入賞したこともあったそうだ。

そうしたことにも、この復刊号で少し思いを馳せてもらえると幸いである。

最後に、掲載に格段のご配慮をいただいた芝蘭会事務局の皆様、また、スキャナの使用を快諾いただいた28期卒業生の方に心より御礼を申し上げます。

APC通信

紙面で紹介したほかにも電子版には興味深い記事が満載。そのほんの一部を紹介します。当時の高校生の関心、高校の抱える課題、社会にも目を向けペンを執った新聞部。電子版が皆さんの思い出を呼び起こす鍵になることを期待します。

阿部野高校豪気節

ひとつとせ
ひろい心と優さこころ
結ぶ男女の阿部高生
そいつぁ豪気だね

と阿部高生をうたっている『豪気節』は10番までです。果たして2番以降は？

昭23年10月15日 第3号 2面

校外ニュース

全国他校での驚くような短信ニュースが掲載されています。その手があったかカンニング対策、郊外で異性と連れ立って歩くだけで!?

他にもびっくり情報が…

昭26年4月10日 第21号~
昭29年12月2日 第59・60合併号

特集 男女交際

やはり、この世代関心の高い男女交際をテーマに阿倍高生にアンケートをとり考察。

男女交際・男女間の友情、果たしてどんな結果に？

昭45年7月20日 第160号 2面
昭48年7月20日 第175号 2面
昭56年12月24日 第225号 2面

編輯後記

新聞部OBOG会から芝蘭会に電子版DVDを寄贈したのだが、その贈呈式のことが会報芝蘭に掲載されるという話になった。それならば、その記事を新聞部OBらで新聞を模した形式で作るので会報のページを借りたいとお願いし、快く了承をいただいた。

【お知らせ】

この復刊号を読んで新聞というツールに限らず、何か情報発信をやってみたいと思われた方は、在校生・卒業生を問わず、芝蘭会事務局まで、ご連絡ください。

また、今回の「高校阿倍野新聞復刊号」を読んだ感想もお待ちしています。

弁護士 江後(えのち) 利幸 (高31期)

弁護士法人 江後法律事務所

〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番6号　後藤ビル9階
TEL(06)4707-6377
FAX(06)4707-6380

若者文化と学生運動の波

昭和40年代（1965～1974）

昭和40年に校内の日の丸掲揚に関して教職員と校長が対立をきたし、一般紙でも報道された日の丸問題が起こった。

高度経済成長を謳歌し社会の変化発展が著しいこの時期、高校生も時代の波に飲まれていく。

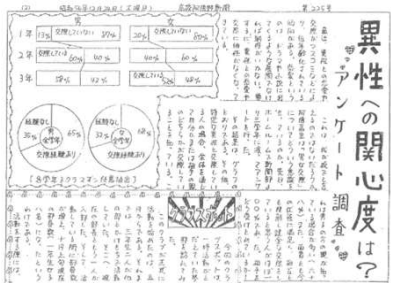
昭和41年のビートルズ来日で一気に若者文化が花開き、長髪とジーンズが若者の象徴になっていくと、制帽が長髪にはダサくて邪魔になり生徒がかぶらなくなった。そこで登校時の着帽チェックが始まるが、みんな校門手前で慌てて鞄から出してかぶるような有様。そんな様子を本紙コラム針の穴が揶揄している。また制服制帽に関する校内アンケートなども新聞部が実施、掲載している。

70年安保闘争（昭和45年）に呼応し再び学生運動の気運が高まっていく中、昭和44年、校内におけるビラ配布の自由化をめぐって学校側と対立した生徒の処分があり（ビラ配布事件）紙上に双方の言い分を掲載して是非を問うた。

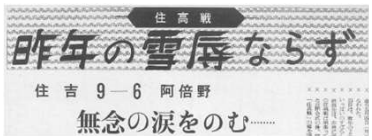
また昭和29年から始まった住高戦も昭和46年に突然廃止になったが、その経緯も詳しく報告されている。

一方で本校生徒が淡路島の海水浴場で子供を救助救命した記事（昭和41年）や始業の合図がサイレンからチャイムになった事など、何気ない日常の話題なども豊富にみられる。

なお制帽は他校の制服自由化の流れに伴い、昭和45年に廃止（自由化）になった。


異性への関心度は？
アンケート調査

高校阿倍野新聞
定員不足
新執行部未成立か
きょう補充選挙
前途多難
低迷する自治会


住高戦
昨年の雪辱ならず
住吉 9―6 阿倍野
無念の涙をのむ……

日の丸問題
昭和40年 第133号

校内に自転車置き場設置
昭和54年 第211号

住高戦廃止
昭和46年 第164号

昭和50年代以降

昭和40年代

昭和58年 第231号

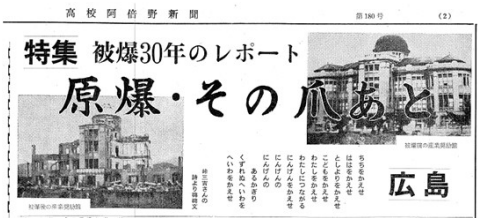
修学旅行で蔵王スキーNHKの取材受ける
平成2年 第248号

昭和48年 第175号

新体育館完成
昭和49年 第181号

高校阿倍野新聞休刊

修学旅行で添乗員失踪


高校阿倍野新聞 第180号 (2)
特集 被爆30年のレポート
原爆・その爪あと
広島

スポット
開襟シャツに不満
検討委員会の設立を望む！

特集
大学に考える

新体育館

低迷する自治会活動

昭和50年代以降（1975～）

学生運動の波が去り、今度は一気に学生の政治離れから自治会活動も低迷する時期に入る。新聞の見出しも執行部不成立、予備選挙実施、三無主義などの文字が並ぶ。議会は流会し、執行部が成立しないために文化祭の開催が危ぶまれたり、予算が成立しないなどを毎年のように繰り返し、その度に「もっと生徒は自覚を！」「選挙管理委員会は何をしていた」などの見出しが多くなる。

一方で学生の恋愛や喫煙問題、進路などといった項目に対するアンケート調査を数々実施しており、当時の学生気質を知る上でも貴重な資料になっている。

トピックスとしては長年懸案であった自転車通学に関して、昭和54年には念願の校内自転車置き場が初めて設置された。それまでは学校周辺に迷惑駐輪して住民から不評を買っていたが、新聞部が登校時に昭和町駅付近で迷惑駐輪している本学生徒数を調査し、その結果を掲載した記事が学校を動かす事につながった。

また昭和58年には修学旅行として実施されていた蔵王へのスキーがNHK山形放送局の目にとまり、TV報道されたことも嬉々として報告している。

こうして激動の昭和が終わって世の中はアナログからデジタルへ、報道も紙媒体から電子媒体へと移り、平成2年の卒業式に刊行した新聞を最後に、阿倍野高校新聞部並びに高校阿倍野新聞はその歴史的使命を終えた。

特集

紙面で見る阿倍野高校の歩み

≪ 昭和23年～平成2年 ≫

昭和20年代（1945～1954）

黎明期を彩る各クラブの活躍

新制高校移行時から昭和26年までは住吉高校校舎に同居していた。古い校舎で、屋上に50人上がると床が抜けるといわれる有様であった。また木造廊下を歩くとうるさいため、校内下駄履き禁止令もあったようだ。

そんな間借り暮らしの中、黎明期の阿部野高校を彩ったのは数々のクラブの活躍であった。中でもソフトボール部、卓球部、バレー部は全国優勝や国体の常連校で何度も紙面を賑わせていた。

校章の制定、校歌の歌詞公募などの記事、また自治会誌聖火も当時は販売されていたようで、売り切れたという記事があるのも驚きだ。特筆すべきは遅刻者の多さで、全校生徒1083人中427人の日があったという記録もある。まさにおっとり阿倍高生の面目躍如だ。その他、本校国語科教諭として在籍していた詩人の伊東静雄の肺結核での静養や死去の報、校長室の盗難事件、そして悲願であった現地への校舎復帰なども経緯を報じている。

昭和27年、論説記事で自治会活動への制約や学校行事の縮小などを学校権力による弾圧と切り捨てたため、発行禁止処分とされた第39号発禁事件があり、時代背景を色濃く反映している。

また昭和29年から住吉高校との運動部定期戦「阿部野住吉総合体育大会」（通称「住高戦」）が行われ、初期はなかなか勝てず記事からも悔しさが滲み出ている。

同年、校名も阿部野から阿倍野の文字に変更された。

住高と同居の阿部野高校

卓球、男子バレー、ソフトボール部国体出場
昭和30年 第66号

新聞第1号創刊
昭和23年 第1号

修学旅行初の男女同行へ
昭和34年 第101号

ソフトボール部全国大会優勝
昭和23年 第3号

昭和30年代

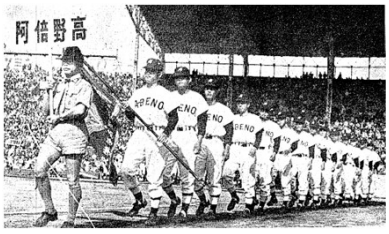
昭和20年代

昭和35年 第103号
野球部選抜甲子園出場

昭和26年 第21号
校舎全面復帰

昭和39年 第131号
本校からオリンピック聖火ランナー７人

昭和28年 第42号
図書館落成



松虫前をいく正走者

昭和30年代（1955～1964）

野球部選抜甲子園出場

この時期の阿倍高はまさに発展期で、新校舎完成、プール竣工、H・R制度の始まりなど学校生活の充実期に入っていく。

とりわけ野球部の選抜甲子園出場（昭和35年）は学校を挙げての一大イベントとなり、応援団は他校のブラスバンドの協力を得て編成することになったようだ。そういったクラブの活躍は野球部にとどまらず、男子バレー部、硬式テニス部、卓球部なども全国大会への出場を果たしている。

また進学実績や就職率100％を誇る求人など、まさに阿倍高が各分野で名声と実績をあげていった時期であった。同時に60年安保闘争（昭和35年）によって学生の政治への関心も高まる中、校内でもいろいろな動きがあった。教諭たちによる、日教組に対する父兄へのイメージアンケートが実施されたり、新聞部でも日の丸や君が代に関するアンケートを生徒、父兄にも行っている。

組合活動の活発化から教員の有給休暇にまつわって自習時間が月に190時間を超えていたという記事もある。

かと思うと第二室戸台風の被害で体育館の屋根が吹き飛んだという記事や、ようやく修学旅行が男女同行になった記事なども経緯を追って書かれている。

昭和39年の東京五輪では本校陸上部の七人が聖火ランナーとして参加し、国体出場も含め陸上部はこのあと黄金期を迎えていく。新聞部も近畿高校新聞コンクールで入賞を遂げた。

復刊号
弟　　号

高校阿倍野新聞電子版を芝蘭会に寄贈

同窓会館で行われた贈呈式の様子

同窓会館（芝蘭会館）において、かつて発行されていた「高校阿倍野新聞」が大量に残されていた。同会館改修後に芝蘭会副会長から新聞部ＯＧに連絡があり、わかったもの。これを受けて新聞部ＯＢら有志が新聞のデジタル保存を目指してＰＤＦ化作業を実施し、新聞電子版ＤＶＤが完成。昨年10月7日に同窓会館にて、新聞部ＯＢＯＧ会より芝蘭会へ贈呈の式典が行われた。

創刊から最終号までを時系列に整理

一昨年9月に芝蘭会副会長から連絡を受けた新聞部ＯＧが確認に向かうと、改修後の同窓会館隅に数個の未整理の段ボール箱が置かれていた。その一箱を開けると昭和23年創刊第1号から平成2年最終号までの「高校阿倍野新聞」ならびに阿部野高等女学校時代発行の新聞「暁」創刊号が詰め込まれていた。

阿倍野高校90周年記念誌でこれらの新聞が引用されているが、その後、未整理のままになって会館内に残されていたものと考えられる。

そこから新聞部ＯＢらによる、これらの新聞を時系列に並べ、クリアフォルダーに収納していくという整理が始まった。作業の中で、紙媒体である新聞の劣化を鑑みるとともに、各々の新聞記事が当時の阿倍野高校の様子を知る貴重な資料となることから、全てをデジタル化して永久保存すべきとの声が上がった。

その後、28期卒業生が自社に新聞サイズをスキャン出来るスキャナを所持されているスキャナを所持されていることがわかり、使用の打診をしたところ、無償での使用に快諾をいただいたことで電子版へ向けての作業が始まった。

劣化が激しい新聞のスキャンに困難を極めたが、週末に都合がつくメンバーが集まり作業すること4か月でＰＤＦ化を終了。その後、データがＣＤでは入りきらなかったため、ＤＶＤへの落とし込みを行った。

この完成をもって、昨年10月7日に同窓会館で新聞部ＯＢＯＧ会から芝蘭会への贈呈式が盛大に開催され、同会代表から芝蘭会副会長に電子版ＤＶＤが贈られた。

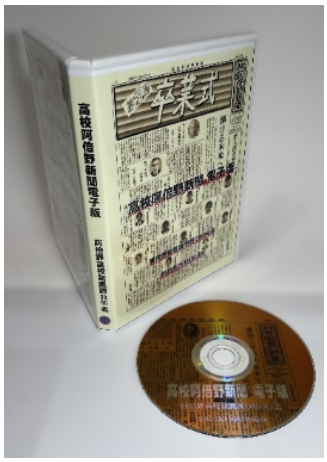
副会長からは「貴重な新聞電子版データの活用法を本会で考えて行きたい」との話があった。

なお、本紙編集中に本校90周年事業の際にデジタル保存された新聞データがＣＤ－ＲＯＭとして本校図書室に残されていたことがわかった。

これは今回作成した電子版と相互補完をなす重要なデータである。当時のデジタル保存に携わられた方々に敬意を表するとともに、今後は双方から未収録部分を補い合うことでより完成度の高い電子版への改訂を進めていく。

阿倍野高校の歴史を知る貴重な資料

今回、新聞を整理した結果、多少の欠落号があるものの昭和23年創刊に始まり平成2年の休刊に至る最終号が揃った。ＤＶＤ一枚に昭和23年から平成2年まで43年間が詰まっている。この中には住吉高校との男女合併、校章制定、校歌歌詞の公募、野球部の甲子園出場、折折の進路状況や体育大会等の行事など様々な事柄が記事として網羅されている。これは、昔を懐かしむ読み物という枠を超えた阿倍野高校の歴史を知る貴重な資料と位置付けられるべきものだ。


今回制作された電子版ＤＶＤ

今回の新聞の再発見と整理および電子版の公開が卒業生のみならず在校生にも阿倍野高校の伝統と歴史を知るきっかけになることを期待したい。

発　　行
大阪府立阿倍野高等学校
新聞部ＯＢＯＧ会
編集制作：
復刊号編集チーム

紙面紹介

一面　電子版を芝蘭会に寄贈・針の穴
二面　特集　紙面で見る　阿倍野高校の歩み
三面
四面　部説・ＡＰＣ通信・編集後記

http://www.shirankai.jp/

高校阿倍野新聞電子版は芝蘭会ホームページから見ることができます。
↑上のQRコードからアクセスしてください。

針の穴

ナポレオンのエジプト遠征に従軍したフランス将校が要塞に使う石に規則性のある図柄が彫られていることに気づいた。ロゼッタストーンである。この発見により古代エジプト文字が解読され幾多の考古学的発見がなされた。現在も大英博物館で訪れる人々を楽しませてくれている▼これに並ぶとは言わないが、芝蘭会館の改修時に高校阿倍野新聞のバックナンバーが見つかった。戦後から平成の初めにかけての阿倍高の歴史を辿れ、当時の阿倍高生の生き生きとした姿を垣間見ることが出来る貴重なものだ▼注目すべきは欄外に「発行禁止号」と走り書きされた昭和27年10月18日付第39号だ。次号が39・40合併号となっており、実際発行出来なかったようである▼昭和27年と言えばサンフランシスコ講和条約締結を巡り全面講和か単独講和かで国論が二分された騒然たる年▼発禁号に目を通すと、文化祭開幕など定番の記事が並ぶ中で「守れ吾等の自治を」と題された論説が時代を物語っているようにも感じる▼これらのデジタルデータは芝蘭会のホームページにもアップされているが、本校の史料のひとつとして学校図書室で閲覧できるようにならないか。昔から伝統を重んじるのがわが阿倍高だ。在校生が本校の生きた歴史に直に触れることで本来の意味での伝統も育つと思うのだがどうだろう。種々課題はあるだろうが、関係諸氏の英断に期待したい。